

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）12 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

バウルダルブンガ（Bardarbunga） アイスランド（図中 A） 標高 2,009m

2014 年 8 月 29 日から発生している割れ目噴火は、12 月の期間も継続した。

バウルダルブンガのカルデラでは、噴火開始から合計で 56m の沈降が観測されている。12 月 29 日現在、溶岩に覆われた面積は 82.8km²に達し、アイスランドでは 1783 年から 1784 年に噴火したラキ火山以来の規模となった。地震活動は活発な状態が継続しており、火山ガスによる局地的な大気汚染も継続している。

フォゴ（Fogo） カーボヴェルデ（図中 B） 標高 2,829m

2014 年 11 月 23 日に発生した噴火は継続し、溶岩の流出が続いた。12 月 6 日には噴火活動が激しくなり、溶岩が 1 時間あたり 30m の速度で流下した。同日午後には、カルデラ内の 20 軒の家屋が破壊され、当該地域からの強制的な避難が命じられた。12 月 8 日には、カルデラ内の 2 つの村の 90% 以上が溶岩に覆われた。

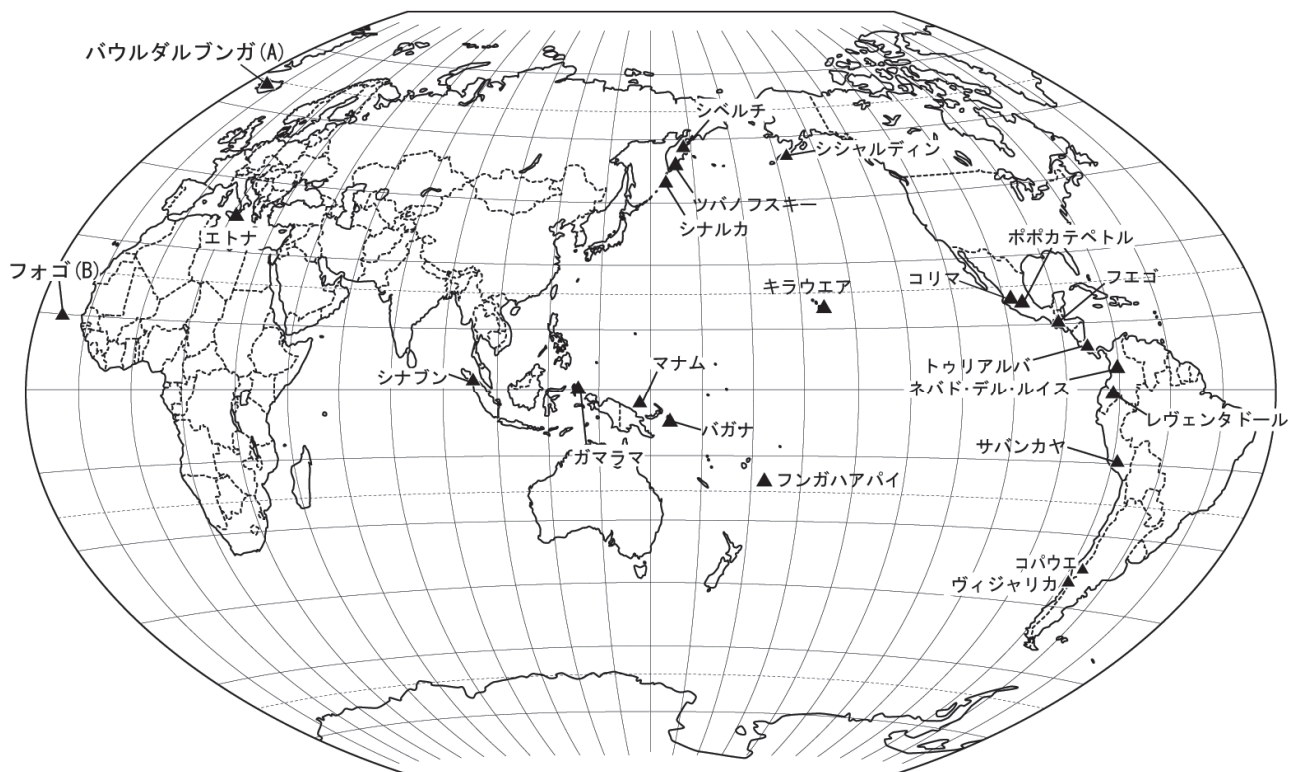


図 平成 26 年（2014 年）12 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。